

## ▶ 攻略法講義



選択肢に接尾辞だけが異なる単語が4つ並んでいる場合は品詞選択の問題です。空所に動詞・名詞・形容詞・副詞のどれが入るのかを答える問題だと思ってください。このタイプの問題の解答には、(1) 空所に入る品詞を特定する、(2) 選択肢の接尾辞からその品詞を選ぶ、の2ステップが必要です。

まずは、品詞を特定するヒントとして以下を確認しておきましょう。

- 主語・目的語になるのは名詞
- 前置詞、所有格の後には名詞
- 助動詞の後には動詞
- 補語になるのは名詞または形容詞
- 形容詞は名詞を修飾する
- 副詞は名詞以外(動詞・形容詞・副詞など)を修飾する

これらが品詞を特定する基本です。しかし、実際に出題される文は長めで構造が複雑であることも少なくないため、まず文構造をしっかり把握できないと、上のヒントが役立たない場合もあります。Pre-Reading (p.32 ~)でも触れたスラッシュリーディングを心がけ、即座に文構造を把握できるようにしておくことが大切です。それが品詞問題対策にも大きな効果を発揮します。

空所に入れるべき品詞がわかったところで、選択肢からその正解を選びます。もちろん選択肢の単語をよく知っていればすぐに選べますが、品詞の区別があやふやである場合には、接尾辞で判断するのが時間の節約にもなりますね。以下に主な接尾辞を挙げておきます。これらはTOEIC対策というだけでなく、英語力全般の向上にも役立つものですのでぜひマスターしておきましょう。

- 動詞の接尾辞  
-ate, -en, -ify, -fy, -ize
- 名詞の接尾辞  
-ance, -ence, -ency, -sion, -tion, -ity, -ty, -ment, -ness, -ism, -er, -or, -ist, -ian
- 形容詞の接尾辞  
-able, -ible, -al, -ful, -ic, -ish, -ive, -less, -ous
- 副詞の接尾辞  
-ly

## 🔑 正解へのカギ

- 文構造を見抜き、品詞を特定するヒントを見つける。
- 代表的な接尾辞を覚えておき、品詞判断の手がかりにする。

## トレーニング

◆ 次の各文の空所に入る品詞が動詞・名詞・形容詞・副詞のどれになるかを答えなさい。また、(1) 各文の主語はどこまでか、動詞はどれか、(2) 空所には具体的にどのような単語が入るか、(3) 文全体の意味はどのようになるか、についても考えてみましょう。

1. The Bureau of Labor estimates that seven out of ten jobs in the food service ----- will pay less than \$12 per hour in five years.
2. The Chinese economy is ----- believed to be improving after a slowdown of several quarters.
3. ----- on the small truck line will be temporarily suspended until the riveting machine is thoroughly cleaned and inspected.
4. Inspectors carefully review all products prior to shipment to ensure that no ----- items are sent to customers.
5. The proposal from the construction company ----- a plan for future additions to the building.